

競 技 注 意 事 項

1. 開催日および
開門時間 令和7年7月26日(土)
令和7年7月27日(日) 両日とも開門 7時30分予定
2. 規 則 2025年日本陸上競技連盟規則及び本大会の規則に準じて行う。
3. 変 更 競技者の変更は一切認めない。プログラム訂正は両日8:30までに行う。
4. 練 習 事故防止の観点から、安全に十分に留意して練習すること。
練習にあたっては、競技役員の指示に従うこと。
① 競技開始前の競技場での練習方法は、次のとおりとする。
 - ・ 1～2レーン ジョギング
 - ・ 3～4レーン 短距離走(バックストレートは3～5レーン)
 - ・ 5～8レーン ハードル(ホームストレート)
 - ・ リレーは、第2及び第3コーナーの6～8レーンで行う。
 - ・ フィールドはドリル練習や流しなど。② 競技場及び補助競技場での練習は、大会参加者に限る。
③ 競技場での練習は、両日とも最初の種目の競技開始15分前までとする。
④ フィールド競技の練習は、招集後より競技役員の指示に従い、行うことができる。
⑤ 補助競技場での練習は、両日とも8:00から行うことができる。
5. 招 集
 - ・ 招集は、従前の形式(1次コール後、現地で最終コール)で行う。
招集所に集まる人数を減らすため(感染症対策として)、競技開始の40分前から30分前(フィールド種目は競技開始の50分前から40分前)の10分間を招集時間として設定しました。招集時間が短いので気を付けること。
尚、競技によっては組により招集時刻が異なるので注意すること。集合(最終コール)は招集終了時刻の15分後とする。また欠場届は提出しなくてよい。
 - ・ 招集所は、100mスタート地点近くのダッグアウト前に設ける。
 - ・ 招集時間に遅れた競技者は棄権とみなし、競技に参加することはできない。
 - ・ 招集場所での受付は必ず本人が行い、種目・組・レーン・氏名等を確認する。
その際、アスリートビブス(ナンバーカード)、シューズ・スパイクの確認を行い、長距離種目は腰ナンバーを受け取る。シューズのソールの厚さは全種目において20mmまでとし、スパイクピンはトラック9mm以下、走高跳・やり投げ12mm以下とする。また、ニードルピンは可とする。
 - ・ 4種競技は、最初の種目と最後の種目で招集を受け、他の種目は現地で招集を受けること。また、最終種目では、腰ナンバーを招集所で受け取ること。
6. リ レ ー
 - ・ リレーオーダー用紙は競技開始1時間30分前から1時間前までに競技者係へ提出する。尚、2日目の中学生男女4×100Jr. R予選のオーダー用紙提出時間は7時40分～8時00分とするので、遅れないよう注意すること
 - ・ 感染症対策として、招集所へは1名が着用するユニフォーム・ナンバーカードの確認を行うこと。また、選手は15分前までに、各スタート地点に集合し受付をすること。
 - ・ リレーのオーダーについては、本競技会プログラムに記載されている選手であれば、2名まではリレーにエントリーされていなくても出場できる。

7. スタート
- ・トラック競技のスタート合図は、イングリッシュコマンドで行い、1回目の不正スタートで失格とする。なお、中学四種では、2回目以降に不正スタートをした競技者が失格となる。
 - ・小学生のフライングについては同一競技者が2回行った場合に失格とする。
8. アスリートビブス
- ・競技者は、各種目とも、胸上部・背上部にナンバーカードを付ける。
(走高跳・走幅跳については胸もしくは背の一方のみでよい。)
 - ・高校生は令和7年度高体連登録番号のナンバーカードを各自用意すること。
 - ・小・中学生については事前に確認されているナンバーカードを各自(学校、スクール毎)で用意する。
 - ・一般の部および市民総合体育大会の部、スクールに所属しない小学生、部に所属しない中・高生については、
当日、受付時に本部でナンバーカードを配布する。返却はしなくてよいが今年度の大会等において今回のナンバーを個人ナンバーとして登録し使用するので保管すること。
 - ・また、長距離種目出場者には、招集時に腰ナンバーを配布し、ゴール後に回収する。
腰ナンバーは右腰に付ける。また、安全ピンは各自用意する。
9. 表彰
- ・優勝者には選手権賞と賞状を授与する。
 - ・小、中学生で決勝3位までに入賞した競技者には、賞状が授与される。また、本大会において顕著な成績を収め、選考の上認められた選手に特別賞として最優秀選手賞「関水正文賞」を授与する。
10. その他(競技方法)
- ①当日の参加選手が少ない場合に、予選をなくすもしくは予選を決勝に代える、もしくは、組数を変更することがある。
 - ②小学生の走幅跳・ジャベリックボール投、中学生の走幅跳については、3回の試技で順位を決定する。
 - ③トラック種目の決勝進出者数は、8名、8チームとする。トラック種目で同記録の場合は、1000分の1まで読み取り決定する。それでも同記録の場合は着順優先とし、同着の場合は抽選を行う。
11. 注意事項
- ①競技者以外は競技場内に入らぬこと。応援については特に制限を設けないが各待機場所及びスタンドから行うこと。
 - ②各団体及び個人参加者の待機場所は「申し合せ事項・確認事項」で確認のこと。
 - ③所持品は各団体で責任を持って管理すること。
 - ④ゴミ等は各自、必ず持ち帰ること。帰宅途中で「ゴミ置場」やその他の場所への投棄・ポイ捨てなど絶対にしないこと。
 - ⑤中央ダッグアウトの本部前は選手の通行を禁止する。
 - ⑥更衣室の利用は15名までとし、シャワーは使わない。
 - ⑦競技場内では、「三密の回避」、「人と人との距離の確保」、「手洗い等の手指衛生」等を励行する。マスクの着用は個人の判断に委ねるが、状況によっては適切なマスクの着用を行い、感染予防に努めること。